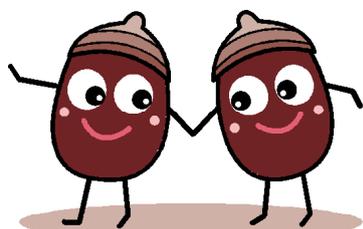


# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



## 目次

- ☆巻頭文、虫めがね・・・・・・・・・・ 2
- ☆高浜夏祭り感想・・・・・・・・・・ 3
- ☆暑気払い感想、クイズ・・・・・・・・ 4
- ☆学習会・・・・・・・・・・ 5
- ☆クラブ活動、活動報告・・・・・・・・ 6
- ☆スケジュール、クイズ解答・・・・ 7
- ☆寄付のお礼、  
僕の生い立ち（太田連載）・・・・ 8
- ☆Dormitory Life（小野塚連載）・・・・ 9
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）  
・・・・・・・・ 10
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）  
2、夕会便り・・・・・・・・ 11
- ☆編集後記・・・・・・・・ 12



## 巻頭文

作業所前の百日紅の花が、咲き誇っていました。  
九月二日から五日にかけて、千葉と埼玉と栃木などで  
竜巻が起こり、怪我をされた方やお家や、その他諸々の  
被害を受けられた方達に、心からお見舞いを申し上げます。

風の子会一同  
太田 圭子

## 虫めがね～会ってみたい偉人～

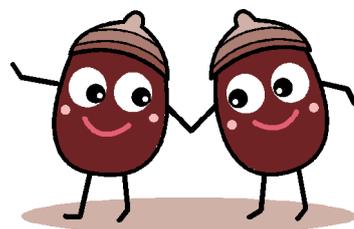
僕は戦国時代で、反逆者と言われている明智光秀が大好きです。何故光秀がこんなに好きかと言えば、比叡山延暦寺の僧侶たちを焼き討ちにしようとした信長を、光秀が必死で止めるのですが受け入れられず、比叡山を焼き討ちにしてしまうという、非常に残虐な行為に出たのです。僕は歴史の本を読んだ時から、明智光秀が好きになりました。僕はそう考えるのですが、読者の皆様は如何お考えでしょうか。



↑ 明智光秀

太田 稔

偉人よりも会ってみたい人たちがいる。戦国時代を生きていた障害者達だ。彼らはきっと、かなり過酷な生活を強いられていたことだろう。差別や偏見、もしかしたら隔離された空間で生きていたのかもしれない。あるいは、長く生きることを許されなかったかもしれない。そんな境遇で暮らしていた障害者が何を考え、どのように思いながら生きていたのか、会って話を聞いてみたい。現代日本を生きる僕ら障害者は、環境的にとても恵まれている。そのせいで甘えが強く自立心の弱い傾向が強いように思われる。そんな僕らを見たら、きっと彼らは激しく怒るだろう。彼らの話を聞くことで、僕らはより強く生きることができるかもしれない。



小野塚 航

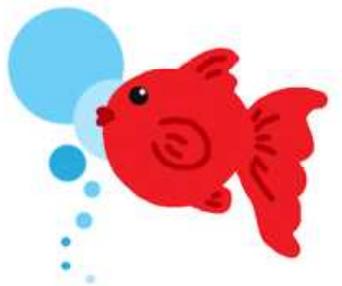
# 高浜夏祭り感想



夏休み明けの8月25日（日）、当日は生憎の雨天だったので、高浜荘の1階～3階までを使い恒例の夏祭りがありました。

参加者はメンバー4名・ボランティア1名・職員3名で、午前11時から午後2時まで行われ、出店は、焼きそば・焼きとり・かき氷・流しそうめん・飲料・駄菓子（好きなものを10点選ぶ）・焼きトウモロコシ・抽選がありました。短時間では有りましたが楽しいひと時を過ごすことができました。風の子会は、昨年と同じで焼きそばとドリンク販売の担当でした。

三木 直人



# 暑気払い感想

八月十日（土）十二時～十六時まで、カナルサイド高浜三階会議室にて、風の子会の暑気払いが行われました。司会は、朝生さん・太田Mさん・斉藤さん・田村さん・職員の石田（M）さん・丸山さんでした。ボランティアさんも大勢参加していただき、クイズやゲームなどを行い、皆さん盛り上がりしていました。アルコールが足りなくなるといトラブルがありました。ボランティアさん



もメンバーも皆が楽しめて良かったと思えました。十二月に行われると思われるクリスマス会は、トラブルのないようにしていきたいですね！？

田中 聡



## Ryo's エニグマルーム

	3	2		1	3		2	3	
2			3			2			3
2			0			2			3
	1	2		3	1		3	2	
2			2			3			1
2			1			1			2
	1	3		2	3		3	2	
3			1			1			3
2			2			0			1
	2	1		2	3		1	3	

スリザーリンク（実際のスリザーリンクとは見た目・方法が違うことを「了承下さいませ」）

- ・ 図内の点線のいずれかに実線を引き、盤面全体に一つの輪を作ることを目指す
- ・ 点線に囲まれた数字は、その数字の周囲の4つの点線の内いくつかの実線が引かれるかを示す。数字の無い所は周囲にいくつの実線が引かれるかは分からない
- ・ 実線は途中で分岐したり、交差したりしてはいけない
- ・ 実線が二つ以上の輪に分かれてはいけない

※右端の縦点線が無いのはミスで実際は点線があるので、其処にも実線は引けます

# 学習会報告 担当 幸

8月7日（水）

35周年記念式典の余興についての話し合い  
この式典で風の子会のみinnで何をしようか？という話し合いを行いました。その結果、歌、演奏、ゲームなど色々な意見が出ましたが、結局、小出先生の演奏と当会の仕事の紹介に決まりました。

「夏らしい冷た〜い！おやつ作り」をしました。  
ところてん、フルーツポンチ、かき氷を作ってみんな美味しそうに食べていた様です。この日くらいから35度を超える猛暑日が続いていたので「冷た〜い物」を食べてちょうど良かったと思います。私は参加できなかったのですが、夕方から当会で会議に参加して残り物を食べました。冷たくて美味しかったです！



ガーデニングで植えた水菜の収穫

ガーデニングを行いました。グリーンカーテンを作りたいという希望があったので、ゴーヤ等ツル性植物を探してみました。しかし時期がすでに遅かった為、すぐに育って収穫も出来る水菜を植えました。現在は無農薬ながら元気に育っています。



8月21日（水）

熱帯魚屋さんに行きました。  
熱帯魚屋「パウパウアクアガーデン」という店に行って熱帯魚を買いました。その熱帯魚を風の子会の水槽の中に入れてあげたら、元々入っていた熱帯魚達は仲間が増えたと大喜びをしたと思います。良かった！良かった！

8月28日（水）

プールに入りました。  
この日、気温30度を超える真夏日で絶好のプール日和でみんな楽しそうに泳いでいた様です。障害者の人達はほとんどが1人で泳げなかった為、浮き輪等を使用したりして個々で工夫していた様です。夏休みだったのが子供が沢山来ていて賑やかだったそうです。  
プールに入らない人はヒューマンでカラオケをしました。

# クラブ活動報告

八月二十四日、土曜日、午後の時間いっぱい使って、クラブ活動が行われました。僕は将棋部に所属していますが、部員は僕一人です。外部からボランティアの方がみえて将棋の相手をしてくれることが多いのですが、その日は誰もみえず、僕一人でした。

仕方がないので、パソコン、インターネットを介したオンライン対局をやるうとしました。しかし、会員登録の際にメールアドレスを書き込まなければならぬサイトが多かったのですが、「風の子」で自分が使っているパソコンのメールアドレスが分からなかった、あるいはないかもしれないので、ネットを介した他者との対局は断念しました。代わりに、登録が不要なあるサイトで、そのサイトのCCC相手に将棋をしました。すぐに飽きすぎて、止めてぶらぶらしていました。そんな僕をかわいそうに思ったのか、ありがたいことに、他のクラブに所属しているメンバー二人が、僕の将棋の相手をしてくれました。



ストーン・ゴッド

# 活動報告

区民まつりの第三テントでゲームをやることになり其れの担当になったので、どのような種類のゲームにするかや景品の種類等を話し合いました。



田村 亮彦



10月12日、13日 区民まつり  
 10月15日 代休  
 10月26日 クラブ活動  
 10月27日 ヒューマンぷらざまつり  
 10月28日 代休

# スケジュール



## クイズ解答

	3	2		1	3		2	3	
2			3			2			3
2			0			2			3
	1	2		3	1		3	2	
2			2			3			1
2			1			1			2
	1	3		2	3		3	2	
3			1			1			3
2			2			0			1
	2	1		2	3		1	3	

## 寄付のお礼

※8/1～8/31に  
ご入金くださった方

賛助会にご賛同下さった方

田中柳三様 田中紀義様

寄付を下された方

三木順子様

ご協力ありがとうございました



松本恵司

そして、僕は改めて聞いた。  
「それで江田さん僕に何か用事ですか」  
彼はにこにこ笑いながら、片手に袋をぶら下げている。  
「稔さんの結婚式の時に誰がどこの席に座るかと言うことをお聞きしたいと思ひましてお伺いしたのです」  
と言ひながら封筒の中から紙を取り出した。

太田 稔

僕の生い立ち  
〜第二十三話〜

## わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第57話 Introspect Myself “ Part - 12 Epilogue in this Episode ”

——どうして俺は今、こんなふうに車の後部座席に乗っているのだろう——

そんな問いを何度も何度も頭の中で繰り返しながら、けれども笑顔と相槌を適度に返しつづ、運転席のイチと助手席のトモを後部座席から眺め続ける。

「江ノ島までの道順、ちゃんと覚えてる？」「まあ、なんとかかなるだろ」「ねえヅカシ、こんな調子で大丈夫かなあ？」一拍の間を置いてから僕は応える「迷ったら、俺が指摘してやるよ」。秋が深まる頃、免許を取ったばかりのイチとトモの深夜ドライブに付き合うことになり、イチの車の後部座席に乗り、二人のやりとりを後ろから見続ける。246号線から129号線に移り、平塚の海岸線に突き当たって左折し、江ノ島あたりの海岸を右手に眺めながら車は更に進む。「案外まともな運転だな」「褒めてんのか？ それ」「一応な」適当に返してはいたが、イチのスムーズなドライビングには正直に言って驚いてもいた。

「そうだねえ聞いてよヅカシ」急にトモが後部座席の僕の方に顔を振り向けながら言うので、僕はそんな彼女の瞳をじっと見つめながら話の続きを聞く。「イチったらさ、シャンプー買ってきてって頼んだら、全然違うシャンプー買ってきたんだよ」「だからそれは、何度も謝ったじゃんか」困り顔に笑顔を混ぜたような表情でイチは必死に自己弁護する。「でもね、よりもよって、絶対これは選ばないでねって言ったシャンプー買ってこないじゃない」「そうだっけ？」「メリットって髪質に合わないんだよね」「・・・そうだっけ・・・」よくある、本当によくあるカップルの会話だ。「ねえヅカシ、ひどいと思わない？」急にまたこちらに顔を向けて聞くので、戸惑いを隠しつつ応える「ああ、それは、確かにイチが悪い」。「おいおい、ヅカシもトモの肩もつのかよ」「だって、ヅカシと私の仲だもんね」「そういうことだな。まあここは、イチの負けってことで」「やれやれ・・・」笑い声があふれる車は、鎌倉を目指していた。

～・・・～

イチは卒業して数年後、実家のある滋賀へ戻り、親の仕事を手伝っていた。その後、親がリタイアするとイチが全面的に仕事を引き継ぐことになった。東京と滋賀は、物理的にも現実的にも少し距離が離れている。けれども僕とイチは、今でも年に1度は顔を合わせている。時には僕が滋賀へ行き、また時にはイチが東京へ来る。会うと必ず飲み、昔話に沸き、現況を語り合う。多分イチとはずっと、そうしていくのだと思う。

多分それがきくと、親友なのだと思う。

～・・・～

トモは卒業後も多くの恋愛経験を重ねていったが、ようやく意中の相手と巡り合い、山形へと嫁いでいった。卒業後もしばらくは会って飲んではいしたが、今ではもうほとんど会うこともなくなった。山形は、思ったよりもずっと物理的に現実的に距離が離れているようだ。けれどもトモのことは今でもよく思い出すし、思い出すたびに胸の奥が何かに刺されたように痛み、疼く。

多分それがきくと、恋だったのだろうと思う。

～・・・～

そうして、5年目の秋が過ぎていった。

～ 第58話へつづく ～

バリアフリーよもやま話 第23回 「国際福祉機器展」

岡本 明

この連載でもときどき紹介してきた、障害のある人のための生活支援機器、パソコン操作支援機器、車いす、福祉車両など、いわゆる福祉機器を一堂に集めた展示会「第40回国際福祉機器展（H.C.R.2013）」が9月18日～9月20日に東京ビッグサイトで開かれましたこれは全国社会福祉協議会ほかの主催で毎年開かれる、世界でも最大級の福祉関連機器の展示会です。今年も風の子会メンバーは水曜学習会の一環として見学に行きました。



国際展示場の広いフロアには最先端の福祉機器がたくさん並んでいて、一つひとつじっくり見ていくととても時間がかかります。風の子会のメンバーはそれぞれに興味があるところを選んで見て回ります。

この展示会は昭和49年に開かれた「社会福祉施設の近代化機器展」が第1回とされています。当時は福祉施設職員の腰痛が問題になっていて、施設の設備・就労環境の整備と入所者への安全な介護を目的にしたものでした（職員の腰痛はいつも大きな問題で、風の子会でも職員、ボランティアを悩ませています）。以後毎年開かれ、第2回からは「社会福祉機器展」となりました。このころはまだ国内企業だけが出展していましたが、昭和61年の第13回には欧米企業も参加し、日本で初めての国際展示会「国際保健福祉機器展」となったそうです。そして第19回以降は国際展示会として開かれてきました。第1回では参加企業64社、入場者9,600人だったのが、今年は参加企業585社（16カ国、1地域）、入場者12万人（予想）と約10倍の規模になり、アメリカの「メドトレード（MEDTRADE）」、ドイツの「リハケア（REHACARE）」と並ぶ世界3大福祉機器展のひとつに発展してきました。今年も車いす、リフト付き車両、入浴補助機器、自助具、リハビリ機器などがたくさん展示されていました。介助の際の腰への負担を軽くする機器も多く見られました。なお、パソコンや情報機器はほとんどありません。この分野は専門の別の展示会がたくさんあります。

アメリカの「メドトレード」は、医療機器、福祉機器、介護・リハビリ機器などの展示会で、出典企業は550社にのぼります。今年は春の「メドトレード・スプリング2013」がネバダ州のラスベガスで開かれました。ラスベガスはカジノなどギャンブルの町として有名ですが、このような大きな展示会、国際学会もたくさん開かれています。秋は「メドトレード2013」で、10月にフロリダ州のオーランドで開かれます。オーランドはディズニーワールドも近くにあり、アメリカでも有名な観光・保養都市です。

ドイツの「リハケア」はデュッセルドルフ見本市会場で年に1回開かれます。デュッセルドルフは日本人もたくさん住んでいるきれいな町です。バリアフリーの生活、ロボットや車などの新技術がメインテーマで、世界中から約750社の企業が出展し、10,000点以上の福祉機器が展示されます。

次ページへつづく→→→

## バリアフリーよもやま話（つづき）

このほかに、福祉機器の国際会議と展示会が一緒に開かれるものとして有名なのが、アメリカのカリフォルニア州立大学ノースリッジ校主催の「障害者と技術国際会議」です。これは大学の名称の略語から CSUN（シー・サン）と呼ばれていて、毎年3月ごろにカリフォルニア州サンディエゴで開かれ、情報機器やハイテク利用支援技術を中心に300以上の技術発表のほか、最新技術の展示があります。日本からもたくさんのリハビリテーション技術の研究者、関係者が参加しています。会場はいつもハイヤット、シェラトンなどの高級ホテルなのですが、玄関先に盲導犬のフンがいっぱいいて驚いたことがあります（アメリカの盲導犬はしつけが悪い？）。

福祉機器は良いものがたくさん作られているのですが、なかなかそれを必要とする人に伝わらず、市場が広がりません。是非このような展示会に積極的に参加して、最新のものについての情報を得るようにしていただきたいと思います。

# 夕会便り

## 8/3 ・レイアウトの変更について

この日は部屋のレイアウトについてどんな形にするか話をしました。まず通路を広くしてトイレまでのルートを広くするという意見が出ました。僕はよくメンバーがトイレに行く時に「通して」と言われるので、少し移動に大変です。作業台が大きいので、机を小さいものと交換するなどの意見が出ました。

## 8/31 ・きょうされん大会時の外出について

9月の下旬にきょうされん全国大会があり、そこに一部のメンバーと職員が参加するため、その日の風の子に残ったメンバーはボウなどを募ってどこかへ出かけようということになり、行き先について話し合いました。

鉄道博物館に行こうということに決まりかけたのですが、結局外出先は横浜に決定しました。

塚田



# 編集後記

夏に放送される某局の27時間テレビ。バラエティーに重きを置いているこの局が丸1日バラエティー番組をやり抜こうという企画だが、数年前から僕はバラエティー番組アレルギーになってしまい、この手の番組を敬遠してしまう傾向が年々増してきていて、ついには今年の27時間テレビは全く観なかった。一方、他局で放送される24時間テレビのほうは最近よく観るようになってきた。家族が懸命に、必死に生きているヒューマンなドキュメントVTRを観るたびに目から鼻から水がこぼれて

歳なのだろうか。

小野塚 航

さすがに40後半に差し掛かると、血圧・体温・脈拍が気になります。そこで日課にしているのが朝と夕方必ず体温と血圧を測って記録しています。平均上が110～125：下が75～80と安定しています。あくまで目安としてですけど・・・医者に行ったとき相談しやすいように。

三木 直人

皆さんこんにちは。この頃暑いんですけど、熱中症など大丈夫ですか。そういえば熱中症予防にはスポーツドリンクなどで（ミネラルを補給）一番効果的なのは塩を水でちよっとだけ薄めて飲むのが効果的です。結構苦いですが、皆さんも熱中症にだけは気をつけて下さい。特にお歳を召した方や、屋外でスポーツをなさっている方や屋外に出ている時間が長い方にこのやり方は強くお勧めします。甘く感じてしまったり感覚がおかしいそうです。それと話は変わりますが、ニュースでエアコンの室外機を盗む窃盗団が居ると報道されていて、すぐくずる賢いと思いました。「その賢さをもっと違う事に使えばいいのに」と思いました。他にはエジプトのカイロで、政権争いでアサド政権が化学兵器を使用し死亡者、怪我人多数が出ました。このニュースを見て私はとても心痛みました。特に怪我人の中に子供が居たので可哀想でした。

塚田 愛基

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者  
石神 太田 久  
佐田 本村 間  
松田 村 間  
右田 本村 間  
幸田 本村 間  
和栗 史子  
栗田 史子  
頭郎

太田 小塚 三柳  
野田 中田 木川  
塚 塚

主 手 愛基 直人 敬久  
子 航 聡 基 直 久 代 事 人

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

